



図1. 丹波篠山市で確認されたムネアカハラビロカマキリ.



図2. 同一個体の胸部などの写真

伊與田翔太・根本宗一郎・高坂晴香・幸村帆夏・佐橋拓弥・岸村晋作・犬飼瑠那・杉浦宏亮・長坂優斗・白石友也・立脇隆文, 2022. 愛知県岡崎市におけるムネアカハラビロカマキリとハラビロカマキリの分布状況. 豊橋市自然史博物館研報. 32: 1-7.

Yamasaki K., Schütte K., Nawa T., 2022. New record of Chinese Reddish Mantis, *Hierodula chinensis* Werner, 1929 (Mantodea, Mantidae) from Japan. Check List 18(1): 147-150. <https://doi.org/10.15560/18.1.147>

(Hiroki UNO 大阪府豊中市)

京都府京丹後市におけるホソバセセリの2020年の記録

宇野宏樹

ホソバセセリ *Isoleinon lamprospilus* は国内では本州・四国・九州・隠岐・対馬・甕島列島に分布することが確認されているセセリチョウの1種である(中峯, 2006; 日本チョウ類保全協会, 2012; 兵庫県, 2023). 今井(2007)によると, 本種は京都北郊西賀茂地域で1930年代から1960年代にかけて観察されているが, 2006年から2007年にかけては観察されていない. また, 京都府京丹後市における本種の記録は2001年に弥栄町丹後あじわいの郷で採集されたもの(中嶋ほか, 2006)があるが, この報告では2000年から2005年までの調



図. 京都府京丹後市で2020年に得られたホソバセセリ

査にもかかわらず, 本種が確認されたのは2001年のみのようである. 筆者は京都府京丹後市で2020年に本種を得ているので, 情報の蓄積のため, 報告しておきたい. なお本種は, 隣接する兵庫県では, 兵庫県版レッドリスト2022においてCランクに指定されている.

2exs. (図), 京都府京丹後市久美浜町湊宮付近. 25. VI. 2020 - 26. VI. 2020. 筆者採集.

丹後砂丘の近くの植物が生い茂ったエリアにいた個体を採集した. これらの個体の標本は筆者が保管している. 京都府丹後砂丘が, 様々な生物の生息に適した環境であり続けることを祈りたい.

○参考文献

- 今井健介, 2007. 京都市北郊における1930年代以降の里山の衰退とチョウ類生息状況の変化. 第21回(平成18年度) TaKaRa ハーモニストファン্ড研究助成報告: 17-31.
- 京都大学蝶類研究会, 2014. 2013年日本産蝶類情報. SPINDA, 29: 123 - 163.
- 中嶋智子・水谷文恵・白岩秀昭・小松正幹・田辺隆志, 2006. 農業公園「丹後あじわいの郷」園内の昆虫リスト(2000年から2005年). 京都府保環研年報, 51: 62-66.
- 中峯浩司, 2006. 鹿児島県甕島列島2005年の昆虫類(第1報). 鹿児島県立博物館研究報告, 25: 38-55.
- 日本チョウ類保全協会(編), 2012. フィールドガイド日本のチョウ. 327pp. 株式会社誠文堂新光社. 東京.
- 兵庫県, 2023. 兵庫県版レッドリスト2022. ホソバセセリ <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/application/files/6216/8075/5568/213.pdf> (2023年9月閲覧)
- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 331pp. 自費出版.

(Hiroki UNO 大阪府豊中市)